

# MITSUBISHI

## ドーム型カラーカメラ 形名

# CIT-8711M

## 据付工事説明書

(販売店・工事店さま用)

|                   |    |
|-------------------|----|
| 安全のために必ず守ること..... | 2  |
| 据付上のお願い.....      | 2  |
| 構成.....           | 3  |
| 使用工具類.....        | 3  |
| 設置上の注意.....       | 4  |
| 設置の前に.....        | 5  |
| 同軸ケーブルの接続.....    | 6  |
| 設置方法.....         | 9  |
| 据付工事後の確認.....     | 12 |
| 試運転.....          | 12 |

### 警告

- 据付工事は、販売店または専門の工事店が実施してください。  
間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。  
当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。

本書に記載の内容は、予告なく仕様の変更、改廃を行う場合があります

U871Z200001A  
SM-Y8010A

©2010 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

この据付工事説明書は再生紙を使用しております

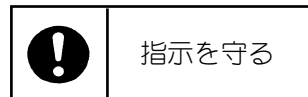
2010年8月 作成

# 安全のために必ず守ること

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この工事説明書及び取扱説明書の「安全のために必ず守ること」をよく読んで、注意事項を必ず守ってください。また、以下の事項は、安全のために必ず守ってください。

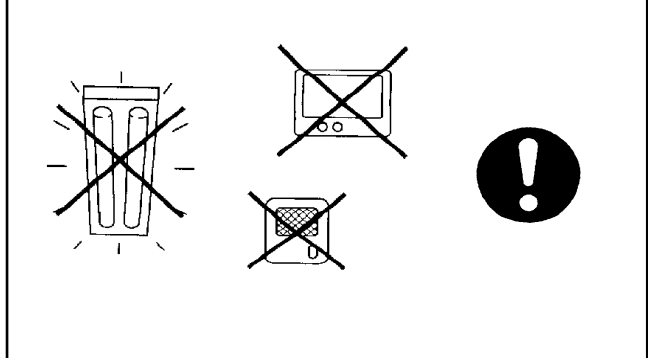
1. 工事されるときは、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行ってください。万一の感電防止のためをお願いします。
2. 工具は適合したものを使用してください。
3. 据付場所が高い場合は、頑丈な据付台（手すり付き）から作業してください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

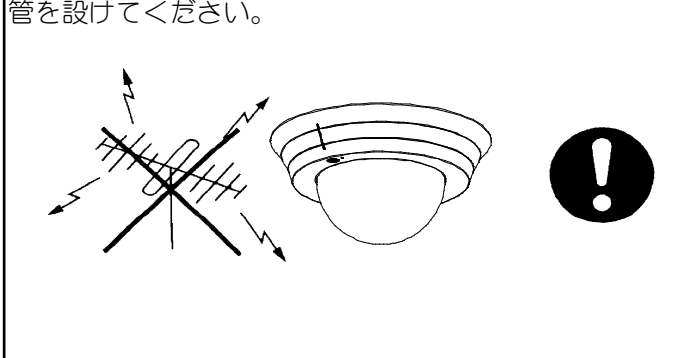


## 据付上のお願い

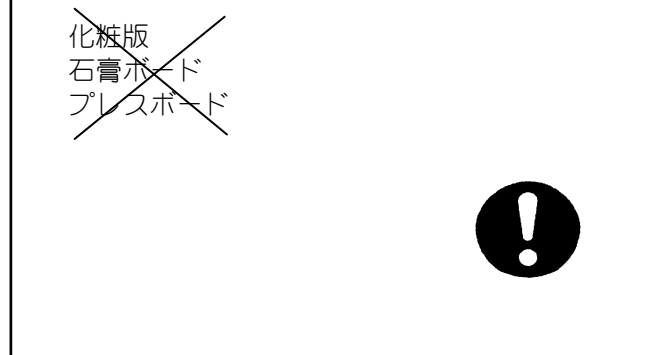
◎カメラケーブルの配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホンやモニタの近くにある場合、映像やインターホンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。



◎テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄鋼電線管を設けて通電してください。  
2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。



◎取付場所はカメラの質量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。また、設置後はおやみにカメラ本体を引っ張らないでください。



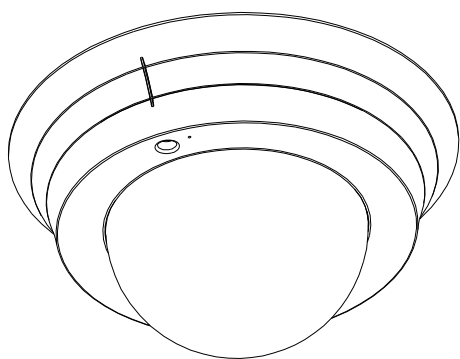
◎カメラを設置される周囲の温度は、 $-10^{\circ}\text{C}$ ~ $+40^{\circ}\text{C}$ 、湿度は80%以下（結露しない場所）でご使用ください。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。



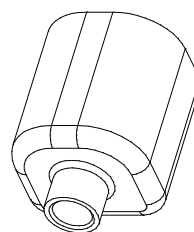
# 構成

---

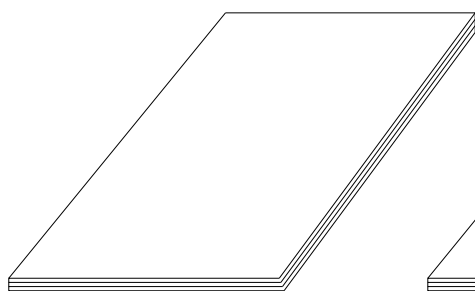
1. CIT-8711M形カメラ本体 ----- 1
2. ターミナルカバー ----- 1
3. 取扱説明書／保証書 ----- 1
4. 据付工事説明書(本書) ----- 1



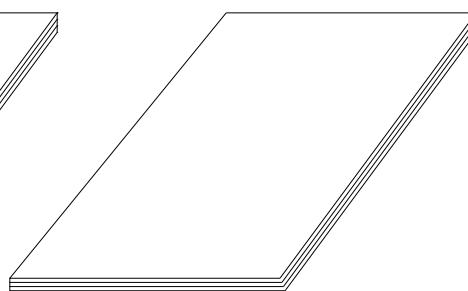
カメラ本体



ターミナルカバー



取扱説明書／保証書



据付工事説明書（本書）

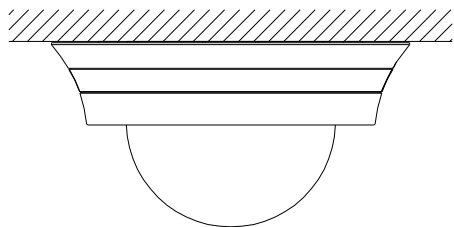
## 使用工具類（次の道具、材料を用意してください）

---

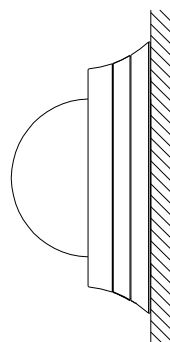
- +ドライバー（呼び番号2番）
- ドリル（Φ3 mm穴あけ用）
- ホールソー（Φ40 mm穴あけ用）
- 取付ネジ：M4相当 3本
- カッター
- ニッパー

## 設置上の注意

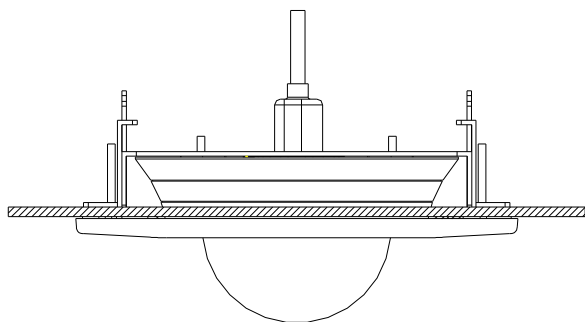
- 本機は天井に取り付ける場合、壁に取り付ける場合、埋込みユニット（K-9874、別手配）を使用して天上に埋込む場合の3通りの設置方法があります。機器を埋込む場合、天井埋込み用の工事説明書を参照してください。



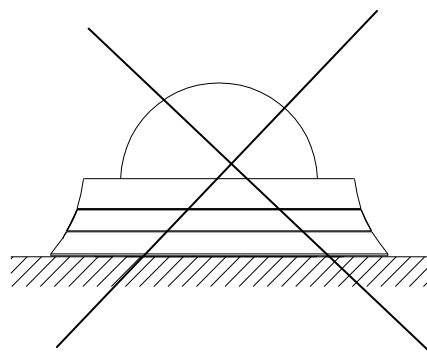
天井に取り付ける場合



壁に取り付ける場合



天井等に埋込む場合

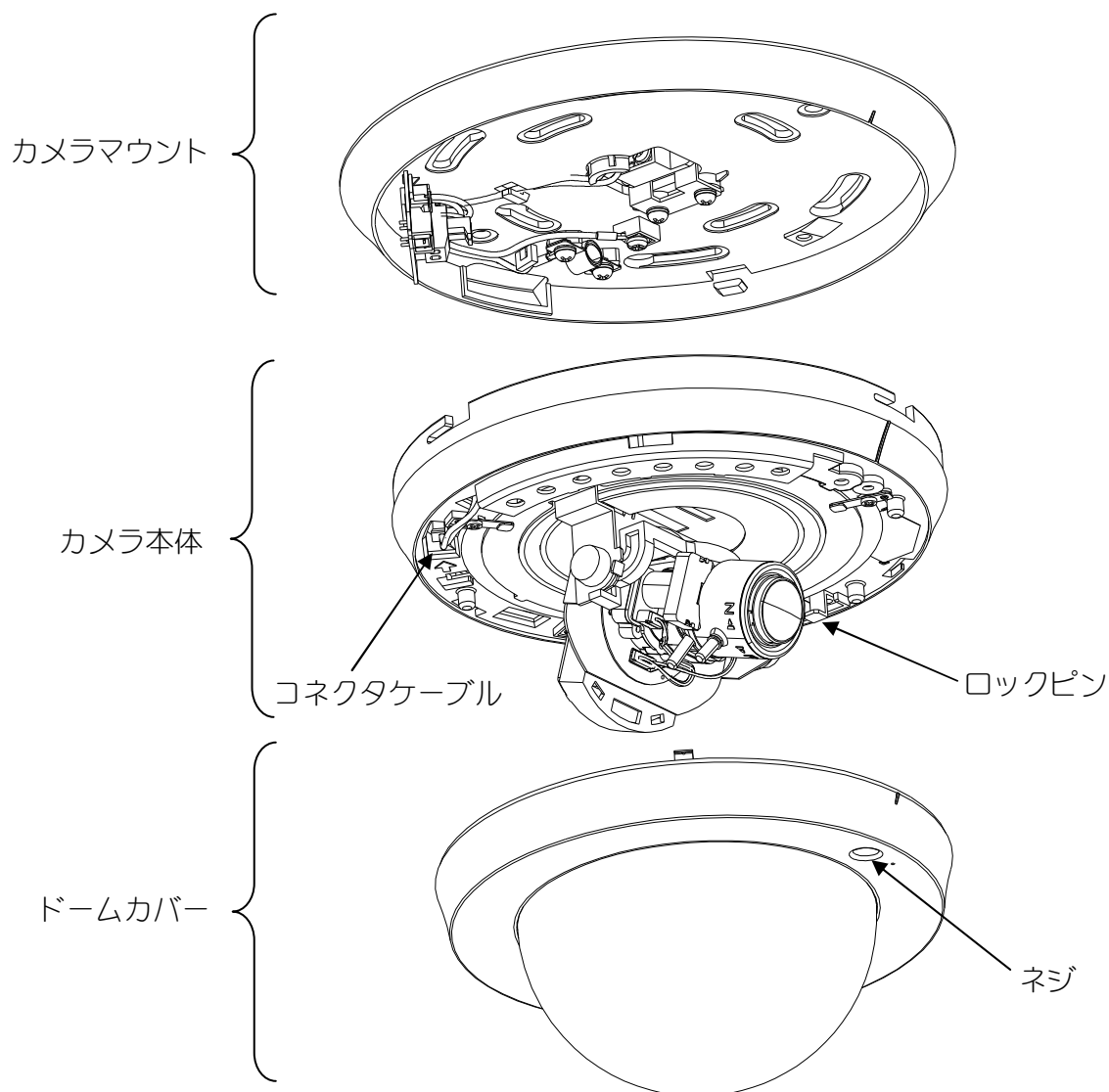


据え置き取り付けはできません

- 本機は十分な強度をもった場所に取付けてください。取付強度が不足していると、モニター上で映像がブレたり、最悪の場合落下の危険があります。また、エアコン等振動の発生する機器の近くに設置しますと映像がブレる場合がありますので振動の発生する機器の近くに設置しないでください。

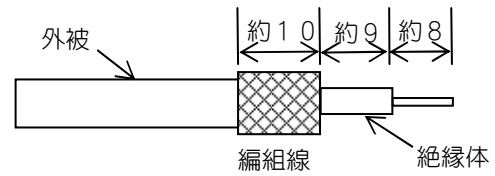
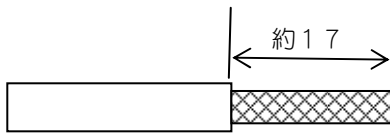
## 設置の前に

- カメラを設置する前に、以下の手順で作業を行ってください。
  1. ドームカバーのネジをゆるめて、ドームカバーを反時計方向に回して取り外します。
  2. カメラマウントとカメラ本体を接続しているコネクタケーブルを外します。
  3. ロックピンを引きながらカメラ本体を反時計方向に回し、カメラマウントからカメラ本体を外します。



# 同軸ケーブルの接続

## ■ 同軸ケーブルの加工

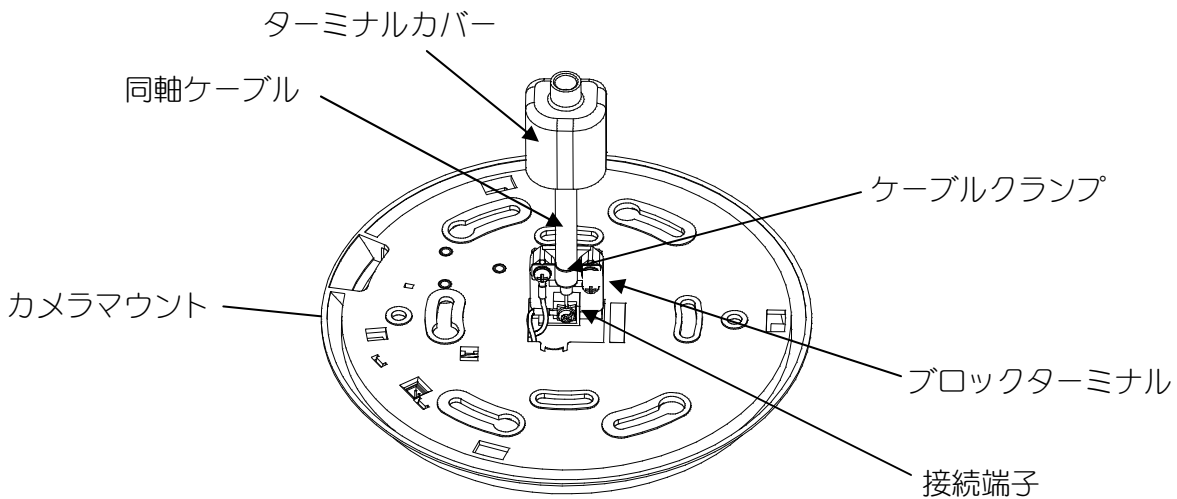


単位：mm

1. 同軸ケーブルの外被をカッターなどで約 17mm 切り取ります。
2. 外被の切り口より 9mm のところで絶縁体を切り取り、編組線を 10mm の長さに切断し、外被に被せます。

## ■ カメラへの取り付け

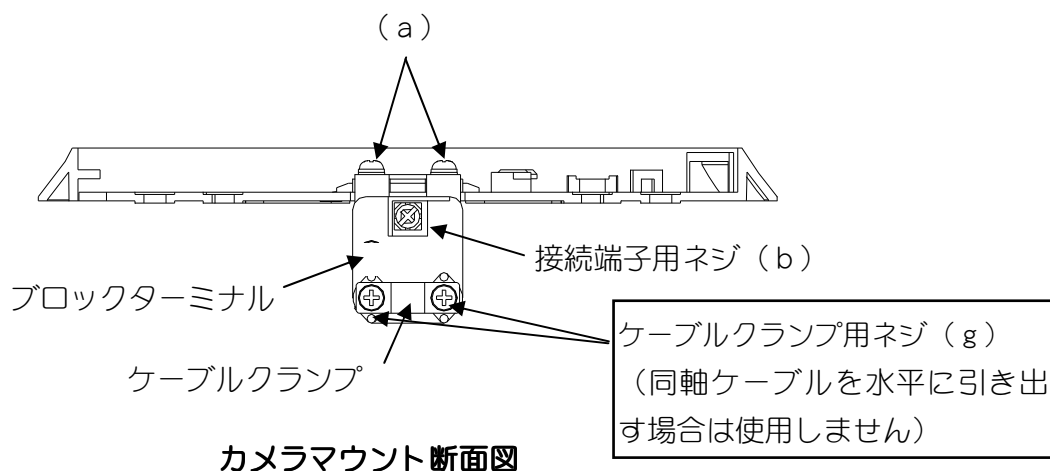
### 1. ケーブルを垂直に引き出す場合（工場出荷時設定）



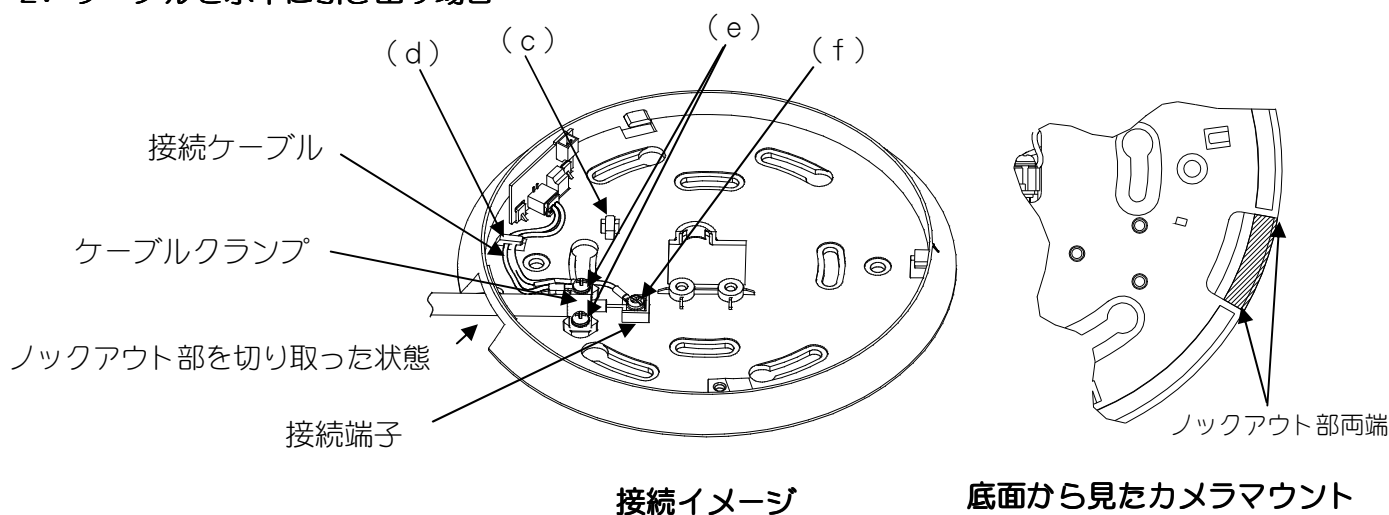
接続イメージ

### 接続手順

1. ターミナルカバーに同軸ケーブルを通します。
2. ブロックターミナルのネジ 3 個（接続端子用（b） 1 個、ケーブルクランプ用（g） 2 個）で同軸ケーブルをネジ止めします。ケーブルクランプにより、同軸ケーブル編組線部を上下から押さえ付けます。
3. ターミナルカバーをブロックターミナルにかぶせます。



## 2. ケーブルを水平に引き出す場合



### 接続手順

1. カメラマウントのノックアウト部両端にニッパー等で切り込みを入れ、折って斜線部分を切り取ります。(上図右参照)
  2. ネジ2箇所 (a) を外してカメラマウントからブロックターミナルを外します。  
(a) は (e) のネジとして同軸ケーブル固定時に使用します。
  3. ケーブルクランプ用ネジ (g) を外して、ケーブルクランプを外します。また、接続端子用ネジ (b) を外して、接続ケーブルを外します。(b) は (f) のネジとして同軸ケーブル固定時に使用します。
  4. 接続ケーブルのクランプ箇所を (c) から (d) へ変更します。
  5. 3項にて外したケーブルクランプ、及び接続ケーブルを、上図のように (e) は (a) で、(f) は (b) でネジ止めします。
- 注) 5C-2V 使用時、取り外したケーブルクランプは1枚のみ使用し、ケーブルを上から押さえ付けます。  
3C-2V 使用時は、ケーブルクランプを2枚使用し、ケーブルを上下から押さえ付けます。



接続ケーブルは赤色の線を接続端子へ、黒色の線をケーブルクランプに接続してください。  
反対に接続されるとショートし非常に危険な状態になりますので、くれぐれも間違いのないようご注意ください。また、作業時は必ず電源ユニットの電源を切ってください。

---

## お願い

### ケーブルの最大延長距離をお守りください

カメラとV P多重電源ユニット間は 5C-2V[3C-2V]で最長 500m[200m]以内で接続してください。500m[200m]を超えて接続しますと、電源の供給及び同軸ワンラインを通じての制御が行えなくなります。

また、V P多重電源ユニットとマトリクススイッチャ間は 5C-2V[3C-2V]で最長 700m[300m]以内で接続してください。700m[300m]を超えて接続しますと、同軸ワンラインを通じての制御が行えなくなります。

カメラとマトリクススイッチャ間には、他の機器（V P多重電源ユニットは除く）を接続しないでください。通信ができなくなります。

注) [ ]内は 3C-2V 使用時の値です。

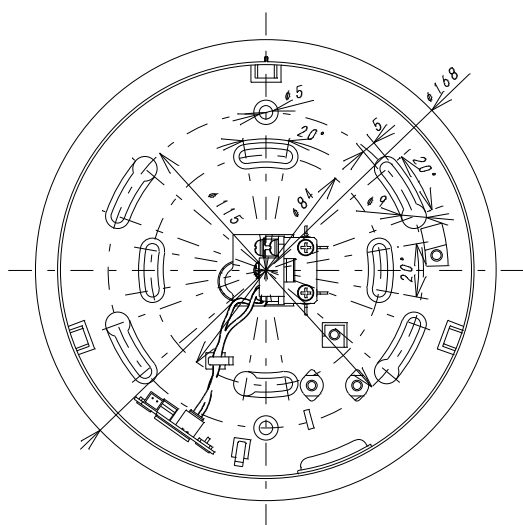
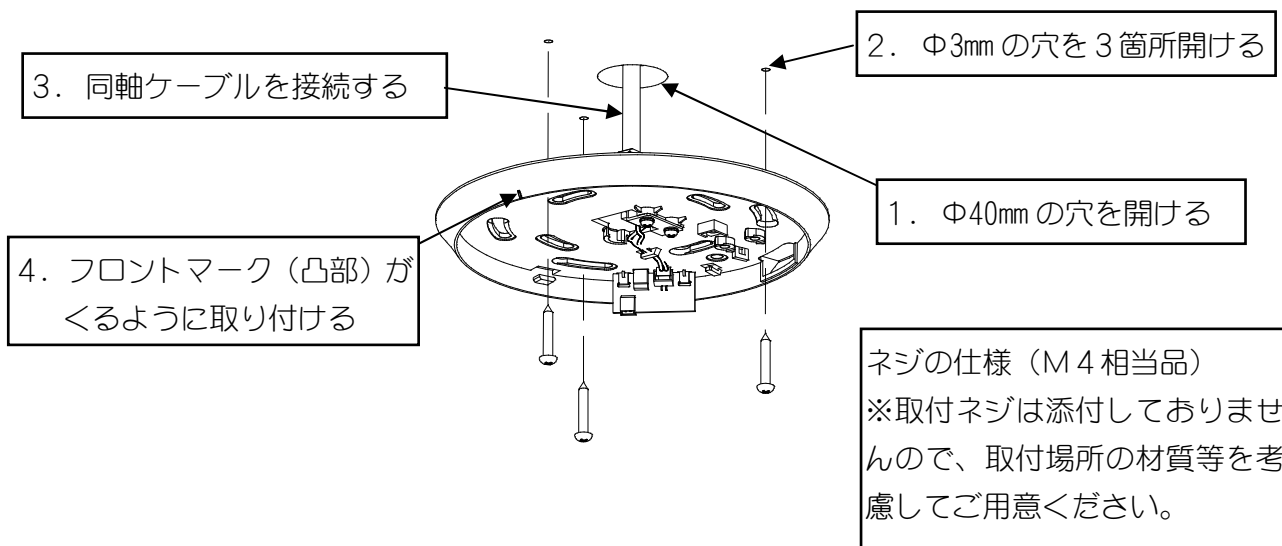


# 設置方法

1. カメラを取り付ける場所に、 $\phi 40$ のケーブル引き込み用の穴を開けます。  
(同軸ケーブルをカメラ本体側面から接続する場合は、穴を開ける必要はありません)
2. カメラを取り付ける場所に $\phi 3$ のカメラマウント取付用の穴を3箇所開けます。  
注) 穴を開ける時、どれか1つの穴がカメラを向けたい方向(センター)になるように開けてください。
3. 壁、または天井からの同軸ケーブルをカメラマウントの同軸ケーブル接続端子に接続します。  
同軸ケーブルの接続のしかたはP. 6をご参照ください。
4. カメラマウントをネジ3個で壁または天井に取り付けます。  
注) カメラを向けたい方向(センター)にフロントマークがくるように取り付けます。

## ⚠ 注意

天井に十分強度があることを確認してから施工してください。



カメラ側から見たベース穴ピッチ図

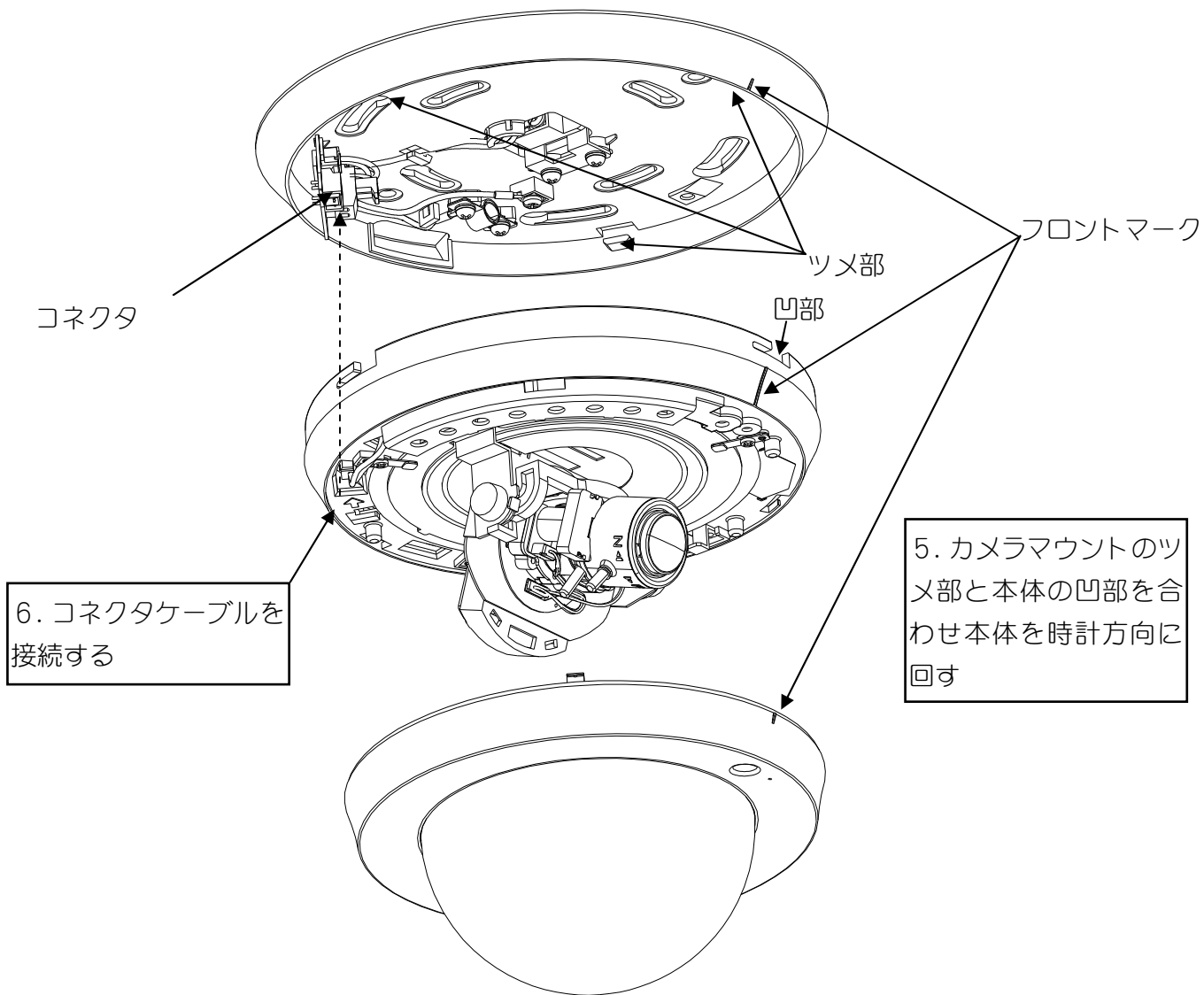
## ⚠ 警告

必ず電源ユニットの電源を切って作業してください。

## ⚠ 注意

据付後、同軸ケーブルを無理に引っ張る等の行為は行わないでください。本体が破損する恐れがありますのでご注意ください。

5. カメラマウントのツメ部（3ヶ所）とカメラ本体の凹部を合わせ、本体を時計方向に回します。  
時計方向に回して、正しくカメラマウントとカメラ本体が嵌合したときにロックピンが下りて音がします。
6. カメラ本体からのコネクタケーブルをカメラマウントのコネクタへ接続します。  
(コネクタの方向に注意して接続ください。)



7. レンズの向きを調節する場合、レンズ部全体で左右方向（±175度）を、レンズ角度調節つまみで上下方向（0度（真下）～70度）を合わせます。
8. 光軸を調整する場合、a部を回転させます。（±90度）
9. （1）画角の調節

- ①ズーム調節リング固定ネジを反時計方向に回してゆるめます。
- ②ズーム調節リングを“TELE”方向に回すと望遠となり、画角が狭くなります。“WIDE”方向に回すと広角となり、画角が広がります。
- ③調節後、ズーム調節リング固定ネジを時計方向に回して固定します。

（2）フォーカスの調節

- ①フォーカス調節リング固定ネジを反時計方向に回してゆるめます。
- ②フォーカス調節リングを“NEAR”方向に回すと近方で焦点が合い、“FAR”方向で遠方に焦点が合います。
- ③調節後、フォーカス調節リング固定ネジを時計方向に回して固定します。

10. ドームカバーのツメ部（3箇所）とカメラ本体の凹部を合わせ、ドームカバーを時計方向に回します。最後にネジで締めます。

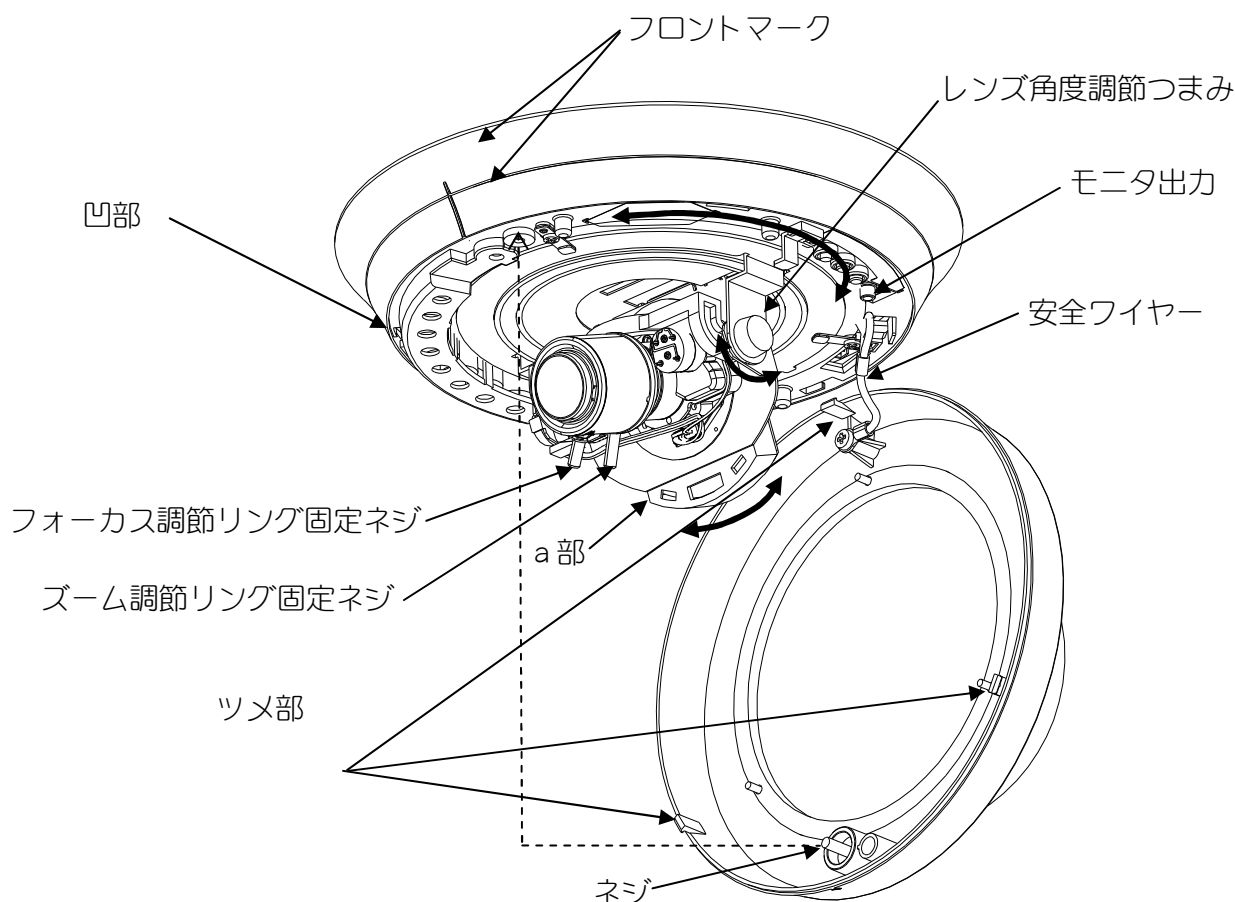
注1) 一度画角・フォーカスを調節した後、再度画角の調節を行うとフォーカスがずれるため、フォーカスの再調節を行ってください。

注2) 画角・フォーカス調節時、レンズ全体に過度な負荷をかけないでください。バックフォーカスがずれてフォーカスが合わなくなります。

注3) レンズの向き、光軸、画角・フォーカスの調整時 a部が熱くなっていますのでご注意ください。

注4) カメラマウント、カメラ本体、ドームカバーのフロントマークが合うように取り付けてください。

注5) ドームカバーを本体に取り付けの際は、安全ワイヤをかみこませないように注意して取り付けてください。



※MONITOR（モニタ出力）には、2極、Φ2.5 ミニチュアジャック（JIS C 6560-1979）を使用してください。（ミニチュアジャックは付属しておりませんので、ご注意ください。）

## 据付工事後の確認

---

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

### ● 安全性に係わる項目

| No. | 項目                        | 判定     |
|-----|---------------------------|--------|
| 1   | 金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。   | YES NO |
| 2   | 指定の電源ユニットを使用しているか。        | YES NO |
| 3   | ケースをはずしたり、改造したりしていないか。    | YES NO |
| 4   | 重いものを載せたり熱器具のそばに設置していないか。 | YES NO |
| 5   | 直射日光のあたる所に設置していないか。       | YES NO |
| 6   | 衝撃、振動のある所に設置していないか。       | YES NO |
| 7   | 据付場所は、カメラの重量に十分耐えられるか。    | YES NO |
| 8   | ネジ3本でカメラマウントを固定しているか。     | YES NO |
| 9   | 電源ユニット側でコネクタの抜けることはないか。   | YES NO |
| 10  | ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。 | YES NO |

### ● 性能・機能に係わる項目

| No. | 項目   | 判定     |
|-----|--|--------|
| 1   | 使用場所の周囲温度・湿度は規格内か。                                       | YES NO |
| 2   | 結露する場所で使用していないか。   | YES NO |
| 3   | 同軸ケーブルの近くに電力、アンテナケーブルが配線されていないか。                         | YES NO |
| 4   | カメラ～電源ユニット間は、5C-2V[3C-2V]ケーブルで500m[200m]を超えていないか。        | YES NO |
| 5   | 電源ユニット～マトリクススイッチャ間は、5C-2V[3C-2V]ケーブルで700m[300m]を超えていないか。 | YES NO |

注) [ ]内は3C-2V使用時の値です。

## 試運転

---

- 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。
- 別冊の取扱説明書に基づいて、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。